



運用実績

2026年2月27日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 23,811円

※分配金控除後

純資産総額 79.8億円

- 信託設定日 2003年11月19日
- 信託期間 2028年11月20日まで
- 決算日 原則 11月18日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.2%
3ヵ月	-1.2%
6ヵ月	34.7%
1年	46.8%
3年	47.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2025年11月	1,100円
2024年11月	700円
2023年11月	500円
2022年11月	950円
2021年11月	1,200円

設定来 379.5%

設定来累計 14,260円

設定来=2003年11月19日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年2月27日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	89.2%
オランダ	4.2%
デンマーク	1.6%
フランス	1.2%
カナダ	0.4%
その他の国・地域	0.3%
その他の資産	3.2%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示していません。

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
日本・円	99.4%
その他の通貨	0.6%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年2月27日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
GILEAD SCIENCES INC	アメリカ	4.7%
BIOGEN INC	アメリカ	4.5%
REGENERON PHARMACEUTICALS	アメリカ	4.5%
ARGENX SE-ADR	オランダ	3.3%
INSMED INC	アメリカ	3.3%
UNITED THERAPEUTICS CORP	アメリカ	3.2%
PRAXIS PRECISION MEDICINES I	アメリカ	3.2%
IONIS PHARMACEUTICALS INC	アメリカ	2.9%
AMGEN INC	アメリカ	2.6%
MADRIGAL PHARMACEUTICALS INC	アメリカ	2.4%
合計		34.7%

組入銘柄数 : 64銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



運用実績

2026年2月27日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 45,463円

※分配金控除後

純資産総額 218.1億円

- 信託設定日 2003年11月19日
- 信託期間 2028年11月20日まで
- 決算日 原則 11月18日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	1.4%
3カ月	-1.0%
6カ月	45.0%
1年	58.3%
3年	93.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2025年11月	2,050円
2024年11月	1,500円
2023年11月	1,300円
2022年11月	1,400円
2021年11月	1,500円

設定来 845.5%

設定来累計 19,340円

設定来=2003年11月19日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年2月27日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	88.9%
オランダ	4.1%
デンマーク	1.6%
フランス	1.2%
カナダ	0.4%
その他の国・地域	0.3%
その他の資産	3.4%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示しておりません。

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
アメリカ・ドル	97.3%
日本・円	1.5%
ユーロ	1.2%
デンマーク・クローネ	0.0%
香港・ドル	0.0%
その他の通貨	0.0%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年2月27日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
GILEAD SCIENCES INC	アメリカ	4.6%
BIOGEN INC	アメリカ	4.5%
REGENERON PHARMACEUTICALS	アメリカ	4.4%
ARGENX SE-ADR	オランダ	3.3%
INSMED INC	アメリカ	3.3%
UNITED THERAPEUTICS CORP	アメリカ	3.2%
PRAXIS PRECISION MEDICINES I	アメリカ	3.2%
IONIS PHARMACEUTICALS INC	アメリカ	2.9%
AMGEN INC	アメリカ	2.6%
MADRIGAL PHARMACEUTICALS INC	アメリカ	2.4%
合計		34.6%

組入銘柄数 : 64銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドは、ESG<sup>\*</sup>を投資対象選定の主要な要素としており、「ファンドの特色」にその詳細を記載しています。

※ ESGとはEnvironment(環境)、Social(社会)及びCorporate Governance(企業統治)の総称です。

## ファンドの特色

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象<sup>\*</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。

### ■ファンドにおけるサステナブル投資■

ファンドでは、世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式への投資を通じて、高度なイノベーション技術を活用し人々の健康を支援する企業群へ投資を行ないます。また、同銘柄への投資比率は純資産総額の3分の2以上を維持することを基本とします。

\* 原則として企業価値に占めるバイオテクノロジー関連ビジネスの事業価値の割合が50%以上の企業を投資対象とします。

### ■銘柄選択の視点■

- 「研究開発力と研究開発のリスク分散」：ユニークな製品／技術基盤を持ち、複数の研究開発プロジェクトを有する企業に注目します。
- 「強固な経営陣」：優れた科学技術と経営手腕(マーケティング戦略、特許戦略など)を有する強力な経営陣を持つ企業に注目します。
- 「健全な財務内容」：資金の調達状況など、企業の継続性を維持できる財務の健全性を有するか否かを確認します。

### ■スチュワードシップ方針■

ファンドでは、議決権行使とエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株主利益を尊重した経営を行なうよう求めます。野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。

\* ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント方針の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針」にある「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン」の「スチュワードシップの方針はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

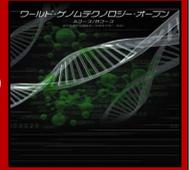
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、「ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド」、「ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ」および「ピクテ・ジャパン株式会社」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年11月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。  
\* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ESG投資に関するリスクなどがあります。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年11月20日まで(2003年11月19日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則11月18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ●ご購入単位 ご購入申込日の翌営業日の基準価額  
1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金  
が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、  
ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ●ご換金単位 ご購入申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額  
を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金  
時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課  
税されます。  
ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。  
なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる  
場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年2.09%(税抜年1.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞

野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

＜受託会社＞

三井住友信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## 先月の投資環境

○米国株式市場は、上旬は大手AI開発会社が企業の一部業務を自動化するツールを発表したことで、競争環境や収益性の悪化が懸念されたソフトウェア関連株などを中心に株価が下落しました。その後回復する場面もありましたが、中旬にかけては、大手通信機器メーカーが半導体メモリの価格高騰による悪影響を示唆したことが嫌気されたことなどから下落しました。下旬は大手半導体設計会社の決算への期待などから上昇したものの、月間では下落しました。

○ナスダック・バイオテクノロジー株指数(配当込み・米ドルベース)の月間騰落率は1.36%の上昇となりました。バイオ医薬品株式は、市場平均を上回る上昇となりました。バイオ医薬品セクター内でクオリティ回帰の動きが顕著となり、業績が堅調な大型銘柄のパフォーマンスが相対的に好調だった一方、中小型株のパフォーマンスは劣後しました。

○個別ではアムジェンやプラクシス・プレジジョン・メディシズなどの株価が堅調に推移しました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)騰落率は、Aコースが0.20%の下落、Bコースは1.36%の上昇となりました。

○組入上位銘柄のうち株価下落率が大きかった主な銘柄は、マドリガル・ファーマシューティカルズ、アルジェンX、インスメッドなどでした。

○月間の主な売買では、米国の免疫学系バイオテクノロジー会社の株式を新規買い付けしたほか、米国の神経変性疾患向け医薬品の発見、開発を行なうバイオテクノロジー会社の株式などを買い増しました。一方で、米国の適応免疫細胞療法を提供する製薬会社の株式などの全売却を行なったほか、アイルランドの薬剤研究会社の株式などの一部売却を行ないました。

## 今後の運用方針(2026年2月27日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○バイオ医薬品株式市場は、米国における薬価引き下げの動きについて、主要医薬品企業と米国政府が2025年後半に合意に至り、業界全体の薬価に関する不透明感が後退したことから、幅広い投資家が医薬品セクターに再注目することが期待されます。またAI関連などテクノロジー株式からバイオ医薬品株式への資金移動の動きにも注目しています。2023年に大型案件が多くみられたM&A(企業の合併・買収)の動きは、2024年は低迷しましたが、2025年には回復し、2026年も増加傾向の継続が期待されます。引き続き大手の医薬品企業や大手のバイオ医薬品企業が大型治療薬の特許問題に直面し、パイプラインの強化が求められていることもあり、2026年にかけても増加が期待されます。特にフェーズ2(臨床試験の中間段階)で良好な治験結果が示された治療薬候補を有するなど、買収後のリスクの低い銘柄が注目されます。新薬の開発では、画期的な新薬の開発が続いており、AIの進化が、さらに開発を加速するとみています。またFDA(米国食品医薬品局)が、医療ニーズが満たされていない適応症の治験については柔軟な姿勢を示していることも治療薬の開発を支援するものと考えます。さらに資金調達については、新薬の開発が順調な企業では引き続きスムーズに進められています。引き続き米国の金融政策、マクロ経済の動向、トランプ米大統領による政策の動向には注視が必要と考えます。

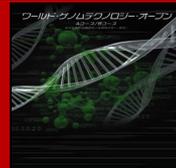
○長期的には、医薬品に関連する医療費についての議論が大きく変化していることがわかります。幾つかの国では治療の有効性に応じて医療費を支払う制度(価値に基づく医療)が利用されていますが、処方薬で最大のマーケットである米国においても、従来の出来高払い方式ではなく、同様の制度を求める声は、益々大きくなっています。医薬品企業と同様に政府、規制当局、保険業者は、医薬品の開発においてイノベーションを抑制することなく、医薬品の費用を効率的に管理することができる妥協案を見つけることを必要としています。さらにAIの進歩はバイオ医薬品業界のイノベーションに大きな役割を果たすことが期待されます。

○このような環境のなか、当ファンドでは高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズの重要度や、薬価および治療薬への患者のアクセスの妥当性などの要因について考慮することも必要です。引き続き、ボトムアップ・アプローチとファンダメンタルズ分析に加え、リスクを考慮したポートフォリオ構築を行なってまいります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2026年2月27日現在

組入銘柄	組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由
1 ギリアド・サイエンシズ	<p>バイオ医薬品メーカー。HIV(ヒト免疫不全ウイルス)、エイズ、肝臓疾患などに注力。</p> <p>エイズ/HIV感染者治療のパイオニアで、患者が通常の生活を送れるレベルまで病気を抑制する治療薬を提供するだけでなく、感染しないための予防薬も提供するなど革新を続けている。また、途上国向けなどに安価な治療薬も提供するなど、この分野におけるリーダーシップにより、患者や医師から多くの信頼を得ている。</p>
2 バイオジェン	<p>医薬品メーカー。多発性硬化症、非ホジキン性リンパ腫、関節リウマチ、クローン病などの疾患向け製品を手掛ける。</p> <p>医薬品メーカー。神経学、腫瘍学、免疫学を中心とした新薬の開発、製造、販売に従事する。多発性硬化症、非ホジキン性リンパ腫、関節リウマチ、クローン病、乾せんなどの疾患向け製品を手掛ける。</p>
3 リジェネロン・ファーマシューティカルズ	<p>バイオ医薬品メーカー。重病患者の治療を対象とする医療製品の研究開発と商品化を手掛ける。がん、眼病、慢性炎症の治療薬(臨床試験段階)、またその他の病気や障害を対象とする治療薬(前臨床段階)を保有する。</p> <p>複数の疾患領域で治療に変革をもたらした非常に革新的な企業で、特に治療しなければ失明に至る可能性のあるAMD(加齢黄斑変性症)の治療で大きな役割を果たしている。また、有効性の高い皮膚疾患の治療薬を有し、がん領域でも非常に有望なパイプラインの開発に取り組んでいる。同社の革新性は、画期的な治療薬を生み出し、大きな市場を獲得することを繰り返し示してきた。</p>
4 アルジェンX	<p>バイオテクノロジー会社。深刻な自己免疫疾患およびがんを対象に抗体療法を開発する。オランダとベルギーで事業を展開。</p> <p>特定の自己免疫疾患について、非常に効果的かつ忍容性の高い治療薬を提供することで、患者の生活の質を大幅に向上させている。同社の治療薬は競合品と比較して手頃な価格設定であることから、治療コストの抑制や多くの患者が治療を受けることを可能にしており、市場シェアの獲得や優れた成長の実現に寄与している。2021年にFDAに承認された重症筋無力症治療薬ヒプガルトは順調に売上を伸ばしている。</p>
5 インスマッド	<p>バイオ医薬品メーカー。重度・希少疾病患者の生活発展・変換に従事する。米国ニュージャージー州で事業を展開。</p> <p>完治が非常に難しく致命的となるマイコバクテリウム・アビウムコンプレックスによる肺非結核性抗酸菌症の治療薬を有している。標準治療よりも優れた治癒率を誇る同社の治療薬により、患者の生活の質と余命が大幅に改善するだけでなく、継続的な対症療法や医師・病院への通院にかかる費用を削減することに貢献している。また、同社は未だ満たされていない医療ニーズの高い感染症分野において重要な役割を果たしている。</p>
6 ユナイテッド・セラピューティクス	<p>製薬会社。肺高血圧症や末梢血管疾患などの血管疾患用治療薬を開発する。主要製品は、経口・皮下投与用の安定型合成プロスタサイクリン。</p> <p>生命を脅かす肺血管疾患の患者に対して、生存率向上を目指した治療法や技術を開発、提供している。同社の治療薬であるリモデュリン、タイバソ、オレンイタラムは、肺動脈性高血圧症における運動能力と症状を改善し、患者の生活の質向上に寄与している。また子会社を通じて、移植の機会を増やすためにパイオエンジニアリングによる「人工肺」などの開発も推進している。</p>
7 ブラクシス・プレジジョン・メディシンズ	<p>臨床段階の遺伝子神経科学会社。複雑な消耗性脳疾患を持つ患者や家族向けに治療法を開発する。米国で事業を展開。</p> <p>遺伝性てんかんに対する知見をもとに、神経の興奮・抑制バランス異常を特徴とする中枢神経系疾患の治療薬の開発に強みを持つバイオ医薬品企業。低分子薬プラットフォームで経口投与可能な精密医療型治療薬を、核酸医薬の仕組みを使ったASOプラットフォームで標的を絞った精密医療を、それぞれ開発しており、医薬品の開発を通じて社会に貢献している。</p>
8 アイオニス・ファーマシューティカルズ	<p>バイオテクノロジー会社。医療ニーズがまだ満たされていない分野向けにRNAを標的とした創薬・開発を手掛ける。米国で事業を展開。</p> <p>アンチセンス技術プラットフォームを活用し、RNAを標的とした治療薬の発見と開発を行っており、開発の対象はハンチントン病やTTRアミロイドーシスなどの希少遺伝性疾患だけでなく、心臓血管系、神経系など広範囲に及んでいる。更に大手医薬品企業とも積極的に提携することで、現時点では有効な治療法が存在しない疾患を抱える患者に対して、画期的かつ有効な治療法を提供することを目指している。</p>
9 アムジェン	<p>独立系バイオ医薬品メーカー。重症向けの治療薬の発見、開発、製造、および販売に従事する。治療法のほか、細胞生物学および分子生物学に基づいた新薬の開発に注力。</p> <p>がん、骨粗しょう症、腎臓病、炎症など様々な疾患をターゲットとした医薬品の強力なポートフォリオを有しており、人々の健康で長生きする生活に貢献している。また経験豊富で大規模な研究開発チームを持ち、他のバイオテクノロジー企業や学術機関、政府機関との良好なパートナーシップを確立している。強力な医薬品ポートフォリオ、最高の研究開発能力、強力な製造およびサプライチェーン(供給網)能力、そして確立されたブランドが、同社の成長維持に貢献している。</p>
10 マドリガル・ファーマシューティカルズ	<p>医薬品メーカー。循環器系・代謝性疾患の主要なニーズを満たす新薬・低分子医薬品を開発する。米国で事業を展開。</p> <p>心血管疾患や代謝性疾患などを中心に治療薬の開発と提供に注力する医薬品企業。既に承認されている治療薬として非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の治療薬レズディフラを有する。NASHは肝硬変、肝不全、肝細胞がんなど、より重篤な疾患に進行する可能性のある疾患であるが、同社の治療薬により多くの患者の症状改善などが期待されている。</p>

(出所)「組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由」は、ピクテからの情報提供等に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。